

ジャコ万と鉄 (1949)

メディア 映画
ジャンル ドラマ サスペンス
製作国 日本
色彩 B&W
時間 91分
初公開日 1949/07/11

【解説】
大衆雑誌懇話会賞を受賞した梶野恵三の『鯉漁場』を、谷口千吉が脚色・監督したサスペンス。黒澤明が共同で脚本を執筆している。1964年には深作欣二監督、高倉健主演でリメイクされた。ドキュメンタリータッチのロケーション撮影が評価を得た。
網元の九兵衛はニシン漁のため安い賃金で漁師をかき集めた。その中に、かつて樺太で一緒だったジャコ万がいた。九兵衛に置き去りにされたジャコ万は死に直面し、九兵衛に深い恨みを抱いていた。ジャコ万は仕事もせず寝てばかりいたが、負い目を感じる九兵衛は何も言えずにいた。そこへ死んだと思われていた九兵衛の息子の鉄が帰ってくる。ジャコ万と鉄はお互い反目するが、ついにニシン漁の時が来た。

【クレジット】
監督 谷口千吉
製作 田中友幸
原作 梶野恵三
脚本 黒澤明 Akira Kurosawa
谷口千吉
撮影 瀬川順一
美術 北辰雄
編集 坂東良治
音楽 伊福部昭
出演 三船敏郎 Toshiro Mifune 鉄
月形龍之介 ジャコ万
進藤英太郎 九兵衛
原泉子 タカ
藤原釜足 宗太郎
島田敬一 源爺
浜田百合子 ユキ
松本光男 大学
久我美子 教会の少女
英百合子
清川虹子
小杉義男
柳谷寛
長浜藤夫
花沢徳衛

松本平九郎
堀江幹
大久保欣四郎
瀬良明
谷晃
志茂明子
亘幸子